

第26号様式（第64条関係）

地球温暖化対策計画書

平成 23年 7月 28日

香川県知事殿

提出者

住所 〒761-8014

香川県高松市香西南町455番地の1

氏名 中山 康治

香川県生活環境の保全に関する条例第91条第1項の規定により、地球温暖化対策計画を作成したので、次のとおり提出します。

事業者の主たる業種	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第63条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第63条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に、電子部品の製造を行っており、県内に2事業場の生産拠点を有する。
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	指針様式1のとおり
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	指針様式1のとおり
計画期間	平成23年度～平成25年度
計画の公表予定年月日	平成23年 7月 30日
計画の公表の方法	弊社のホームページに掲載し、インターネットの利用により公表する。
連絡先	担当部署 品質保証部 担当者 XXXXXXXXXX 電話番号 087-882-1131 FAX番号 087-881-5656 電子メールアドレス XXXXXXXXXX@XXXXXX.XXXXXX

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

事業所の名称及び所在地

	名 称	所 在 地
第一種エネルギー管理指定工場		
1	本社・高松工場	高松市香西南町455-1
2	観音寺工場	観音寺市吉岡町262
3		
第二種エネルギー管理指定工場		
1		
2		
3		
それ以外の事業所		
1		
2		
3		

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		平成 23 年度～平成 25 年度				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容				
		別紙2のとおり				
		別紙2のとおり				
		別紙2のとおり				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 22 年度)	目標年度 (平成 25 年度)	対基準年度比 (%)	
		<input type="checkbox"/> 温室効果ガス 排出量 A	(二酸化炭素換算(t)) 25,610 t - CO ₂ ①	(二酸化炭素換算(t)) 26,000 t - CO ₂ ②	101.5	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B	■■■■ t - CO ₂ /百万個	■■■■ t - CO ₂ /百万個	87.8	
		温室効果ガス排出量と 密接な関係を持つ値 B	■■■■ 百万個 (生産数量)	■■■■ 百万個 (生産数量)	115.7	
	温室効果ガスの吸収等	区 分	目標年度 (平成 年度)			
			取組量等		二酸化炭素換算(t) ③	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等	(整備面積等)	ha	(吸収量)	t - CO ₂
	<input type="checkbox"/> グリーン電力 の購入	(購入量)	千 kWh	(削減量)	t - CO ₂	
	差引排出量	基準年度 ① (平成 22 年度)	目標年度 (②-③) (平成 25 年度)		対基準年度比 (%)	
		25,610 t - CO ₂	26,000 t - CO ₂		101.5	
特記事項	上記の取組み以外に地球温暖化防止のため、以下の取組みを実施予定 ・太陽光発電をはじめ、自然エネルギー導入の調査活動を実施					

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量A/B」を選択した場合においても「温室効果ガス排出量 A」の値は記入すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。

エネルギー使用合理化計画

番号	計画内容	計画年度			対象事業所		備考
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	本社・高松工場	観音寺工場	
1	高効率空調への更新	○	○	○	○	○	3年計画
2	高効率照明への更新	○	○	○	○	○	3年計画
3	高効率空気圧縮機への更新	○	○	○	○	○	3年計画
4	真空ポンプによる真空利用の拡大	○	○	○	○	○	3年計画
5	配管圧損の改善による空気圧縮機の軸動力削減	○	○	○	○	○	3年計画
6	圧空の露点制御の見直し	○	○	○	○	○	3年計画
7	エアブローのプロバ化	○	○	○	○	○	3年計画
8	気化熱式冷却方式の給気設備の導入	○	○	○	○	○	3年計画
9	ヒーター熱損失の低減	○	○	○	○	○	3年計画
10	液晶モニタへの更新	○	○	○	○	○	3年計画
11	高効率変圧器への更新	○	○	○	○	○	3年計画
12	防災排煙窓への断熱処理	○	○	○	○	○	3年計画
13	空気圧縮機の台数制御システムの更新	○	○	○	○	○	3年計画
14	既存変圧器の無負荷損の低減	○	○	○	○	○	2年計画
15	空気圧縮機の自動間引きシステムの導入	○	○	○	○	○	2年計画

注、上表の記号○は計画の対象年度を表す。

ただし、長期計画の項目については、単年度または複数年度での実施については未定です。

【別表1】 アオイ電子株式会社 本社・高松工場 (平成22年度分)

エネルギーの種類		エネルギー使用量			単位発熱量	
		数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位
燃料 及 び 熱	原油 (コンデンセートを除く。)			k l		38.2 GJ/k l
	原油のうちコンデンセート(NGL)			k l		35.3 GJ/k l
	揮発油 (ガソリン)			k l		34.6 GJ/k l
	ナフサ			k l		33.6 GJ/k l
	灯油			k l		36.7 GJ/k l
	軽油			k l		37.7 GJ/k l
	A 重油			k l		39.1 GJ/k l
	B・C 重油			k l		41.9 GJ/k l
	石油アスファルト			t		40.9 GJ/t
	石油コークス			t		29.9 GJ/t
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	309	t	15,697	50.8 GJ/t
		石油系炭化水素ガス		千 m ³		44.9 GJ/千 m ³
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		54.6 GJ/t
		その他の可燃性天然ガス		千 m ³		43.5 GJ/千 m ³
	石炭	原料炭		t		29.0 GJ/t
		一般炭		t		25.7 GJ/t
		無煙炭		t		26.9 GJ/t
	石炭コークス			t		29.4 GJ/t
	コールタール			t		37.3 GJ/t
	コークス炉ガス			千 m ³		21.1 GJ/千 m ³
	高炉ガス			千 m ³		3.41 GJ/千 m ³
	転炉ガス			千 m ³		8.41 GJ/千 m ³
	都市ガス			千 m ³		44.8 GJ/千 m ³
	産業用蒸気			GJ		1.02 GJ/GJ
	産業用以外の蒸気			GJ		1.36 GJ/GJ
	温水			GJ		1.36 GJ/GJ
冷水			GJ		1.36 GJ/GJ	
小計 ①				15,697		
電気	一般電気事業者	昼間買電	24,282	千 k Wh	242,092	9.97 GJ/千 k Wh
		夜間買電	16,377	千 k Wh	151,979	9.28 GJ/千 k Wh
	その他	上記以外の買電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
		自家発電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
	小計 ②				394,071	
合計(GJ) ③=①+②				409,768		

原油換算エネルギー使用量 (k l)	④=③×0.0258	10,572
--------------------	------------	--------

【別表1】 アオイ電子株式会社 観音寺工場（平成22年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			単位発熱量	
		数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位
燃料 及 び 熱	原油（コンデンセートを除く。）			k l		38.2 GJ/k l
	原油のうちコンデンセート(NGL)			k l		35.3 GJ/k l
	揮発油（ガソリン）			k l		34.6 GJ/k l
	ナフサ			k l		33.6 GJ/k l
	灯油			k l		36.7 GJ/k l
	軽油			k l		37.7 GJ/k l
	A 重油			k l		39.1 GJ/k l
	B・C 重油			k l		41.9 GJ/k l
	石油アスファルト			t		40.9 GJ/t
	石油コークス			t		29.9 GJ/t
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	2	t	102	50.8 GJ/t
		石油系炭化水素ガス		千 m ³		44.9 GJ/千 m ³
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		54.6 GJ/t
		その他の可燃性天然ガス		千 m ³		43.5 GJ/千 m ³
	石炭	原料炭		t		29.0 GJ/t
		一般炭		t		25.7 GJ/t
		無煙炭		t		26.9 GJ/t
	石炭コークス			t		29.4 GJ/t
	コールタール			t		37.3 GJ/t
	コークス炉ガス			千 m ³		21.1 GJ/千 m ³
	高炉ガス			千 m ³		3.41 GJ/千 m ³
	転炉ガス			千 m ³		8.41 GJ/千 m ³
	都市ガス			千 m ³		44.8 GJ/千 m ³
	産業用蒸気			GJ		1.02 GJ/GJ
	産業用以外の蒸気			GJ		1.36 GJ/GJ
	温水			GJ		1.36 GJ/GJ
冷水			GJ		1.36 GJ/GJ	
小計 ①				102		
電気	一般電気事業者	昼間買電	11,809	千 k Wh	117,736	9.97 GJ/千 k Wh
		夜間買電	7,902	千 k Wh	73,331	9.28 GJ/千 k Wh
	その他	上記以外の買電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
		自家発電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
	小計 ②				191,067	
合計(GJ) ③=①+②				191,169		

原油換算エネルギー使用量 (k l)	④=③×0.0258	4,932
--------------------	------------	-------

【別表2】 アオイ電子株式会社 本社・高松工場（平成22年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油（コンデンセートを除く）			kl			kl		
	原油のうちコンデンセート(NGL)			kl			kl		
	揮発油（ガソリン）			kl			kl		
	ナフサ			kl			kl		
	灯油			kl			kl		
	軽油			kl			kl		
	A重油			kl			kl		
	B・C重油			kl			kl		
	石油アスファルト			t			t		
	石油コークス			t			t		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	309	t	15,697		t	15,697	926.6
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス			t			t		
	コールタール			t			t		
	コークス炉ガス			千m ³			千m ³		
高炉ガス			千m ³			千m ³			
転炉ガス			千m ³			千m ³			
都市ガス			千m ³			千m ³			
小計 ①								926.6	
熱	産業用蒸気			GJ			GJ		
	産業用以外の蒸気			GJ			GJ		
	温水			GJ			GJ		
	冷水			GJ			GJ		
小計 ②								0.0	
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電気	一般電気事業者	昼間買電	24,282	千 kWh			千 kWh	24,282	9,882.8
		夜間買電	16,377	千 kWh			千 kWh	16,377	6,665.4
	その他	上記以外の買電		千 kWh			千 kWh		
		自家発電		千 kWh			千 kWh		
小計 ③								16,548.2	
合計(t-CO ₂) ④=①+②+③								17,474.8	

電気：0.000407t-CO₂/kWh（四国電力㈱）

【別表2】 アオイ電子株式会社 観音寺工場（平成22年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油（コンデンセートを除く）			kl			kl		
	原油のうちコンデンセート(NGL)			kl			kl		
	揮発油（ガソリン）			kl			kl		
	ナフサ			kl			kl		
	灯油			kl			kl		
	軽油			kl			kl		
	A重油			kl			kl		
	B・C重油			kl			kl		
	石油アスファルト			t			t		
	石油コークス			t			t		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	2.0	t	102		t	102	6.0
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス			t			t		
	コールタール			t			t		
	コークス炉ガス			千m ³			千m ³		
高炉ガス			千m ³			千m ³			
転炉ガス			千m ³			千m ³			
都市ガス			千m ³			千m ³			
小計 ①								6.0	
熱	産業用蒸気			GJ			GJ		
	産業用以外の蒸気			GJ			GJ		
	温水			GJ			GJ		
	冷水			GJ			GJ		
小計 ②								0.0	
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電気	一般電気事業者	昼間買電	11,809	千 kWh			千 kWh	11,809	4,806.3
		夜間買電	7,902	千 kWh			千 kWh	7,902	3,216.1
	その他	上記以外の買電		千 kWh			千 kWh		
		自家発電		千 kWh			千 kWh		
小計 ③								8,022.4	
合計(t-CO ₂) ④=①+②+③								8,028.4	

電気：0.000407t-CO₂/kWh（四国電力㈱）

【別表5】アオイ電子株式会社 (平成22年度分)

事業所名		自動車 エネルギー使用量・台数										
		ガソリン (kl)			軽油 (kl)			LPG (t)		都市ガス(CNG)(千 m ³)		
		台数(台)		台数(台)		台数(台)		台数(台)				
		総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く			
1	本社・高松工場	16.59	7	7	6.38	2	2					
2	観音寺工場	3.39	1	1	6.10	4	4					
3												
合計		19.98	8	8	12.48	6	6					

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B = A × C	数値 C	単位	
ガソリン	19.98	kl	691.31	34.6	GJ/kl	46.39
軽油	12.48	kl	470.50	38.2	GJ/kl	32.26
LPG		t		50.2	GJ/t	
都市ガス (CNG)		千 m ³			GJ/千 m ³	
合計						78.65

※ LPGの比重は、一般に0.50~0.60 kg/lですが、デフォルト値として0.56 kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ()

集計表

区分	平成22年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表2)	25,500
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表5)	78
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量 (非エネルギー起源CO ₂ 排出量 : 0.2 t - CO ₂ メタン分排出量 : 8.7 t - CO ₂ 一酸化二窒素分排出量 : 1.6 t - CO ₂ ハイドロフルオロカーボン類分排出量 : 22.2 t - CO ₂ 六フッ化硫黄分排出量 : 0.2 t - CO ₂)	32
合計	25,610